

## 第 8 期柏市高齢者いきいきプラン 2 1 策定のための アンケート調査について

### I 調査の報告について

第 8 期柏市高齢者いきいきプラン 2 1 策定に向けては、日常生活圏域ニーズ調査（健康と暮らしの調査）、特別養護老人ホーム待機者調査、ケアマネジャー調査、在宅介護実態調査、柏市介護保険サービス従事者調査の 5 つを実施しています。このうち、日常生活圏域ニーズ調査（健康と暮らしの調査）以外の調査について、回答者全員の回答結果のまとめが完成したため、概要を報告するものです。（日常生活圏域ニーズ調査（健康と暮らしの調査）については、令和 2 年 1 月 20 日に発送したため、現在集計作業を進めています。）

なお、今後、前回調査の結果との比較や、本日ご審議いただいた内容を踏まえクロス分析などを行い、調査報告書を作成いたします。

### II 調査の概要

#### 1. 特別養護老人ホーム待機者調査

##### (1) 実施概要

調査目的	介護保険施設の必要量や介護サービスの在り方等を検討することを目的として実施			
対象者	令和元年 11 月 1 日時点で特別養護老人ホームへ入所申込みをしていた者			
実施期間	令和元年 11 月 22 日 ～ 12 月 13 日			
実施方法	郵送配布－郵送回収			
配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
635 件	428 件	67.4%	383 件	60.3%

##### (2) 入所者及び主な介護者の状況

**【入所予定者の状況、自宅で過ごしながらか入所を待つ人が 4 割強、一人暮らしは 1 割強】**

- **入所予定者の同居者**は、「配偶者（夫または妻）」が 34.7%で最も多く、次いで「子ども」が 34.2%、「その他」が 20.4%となっています。
- **世帯構成**は、「一人暮らし」が 14.9%、「配偶者（夫または妻）のみ」が 24.0%となり、合わせると約 4 割を占めています。
- **生活場所**は、「自宅（家族などとの同居も含む）」が 34.7%で最も多く、次いで「介護老人保健施設」が 29.2%、「病院または診療所（入院中）」が 10.2%となっています。「自宅（家族などとの同居も含む）」と「病院または診療所（入院中）」を合わせると、44.9%が在宅にしながら施設入所を希望していることが分かります。

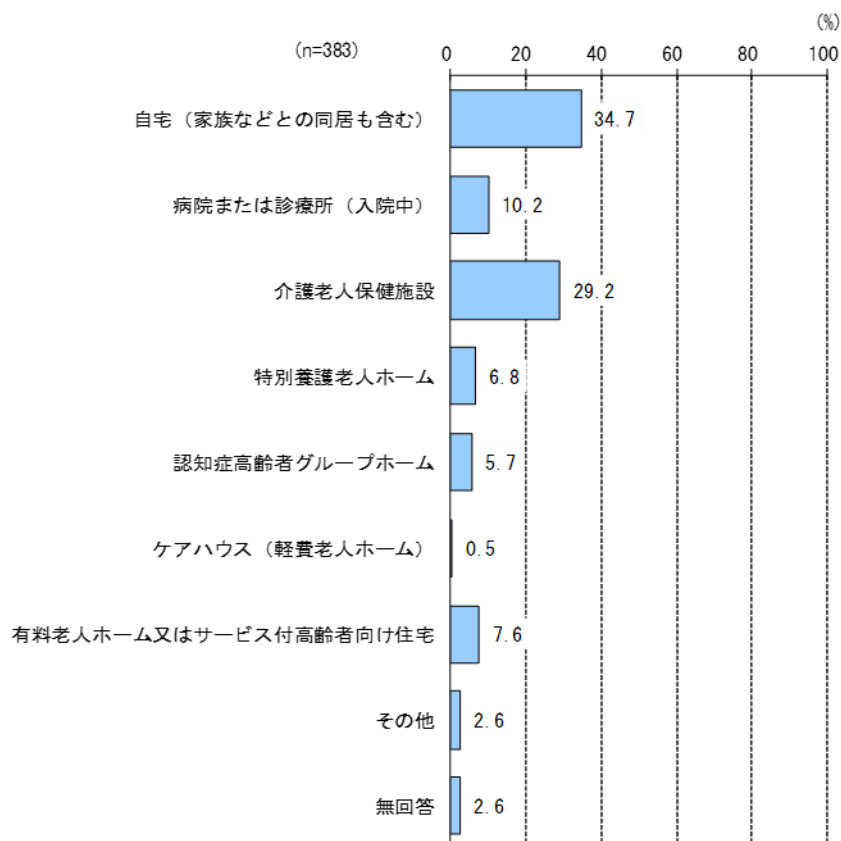
**【主介護者の状況、同居親族の介護負担が大きく、体調面などで不安がある人も多い】**

- **主介護者**は、「息子・娘」が 29.2%で最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」が 27.2%、「ホー

ムヘルパーなど介護の専門職」が20.9%となっています。

- **主介護者の性別**は、「男性」31.3%、「女性」62.7%と、「女性」が「男性」の約2倍を占めています。主介護者の年齢について、「70歳代」が27.6%で最も多く、次いで「50歳代」が22.4%、「60歳代」が20.5%となっています。
- **主介護者の状態・状況**は、「仕事をしている」が37.7%で最も多く、次いで「病気で通院している」が28.0%、「要支援または要介護認定を受けている」が19.0%となっています。  
主介護者別にみると、配偶者（夫または妻）では、「病気で通院している」が46.2%で最も多く、次いで「要支援または要介護認定を受けている」が33.7%と回答されており、本調査において主な介護者であると回答した配偶者（夫または妻）の多くが、ご自身の体調面にも配慮しながら、主介護者を担っていることが分かります。
- **介護を交替して行える人の有無**は、「いる」が20.1%、「いない」が69.8%となっています。
- **介護の頻度**は、「ほぼ毎日」が48.9%で最も多く、次いで「介護はしていない」が14.2%、「週に1～2日」が10.1%となっています。
- **介護の内容**は、「掃除・洗濯」が63.8%で最も多く、次いで「見守り、声かけ」が56.7%、「食事」が50.4%となっています。

### 【本人の生活場所】

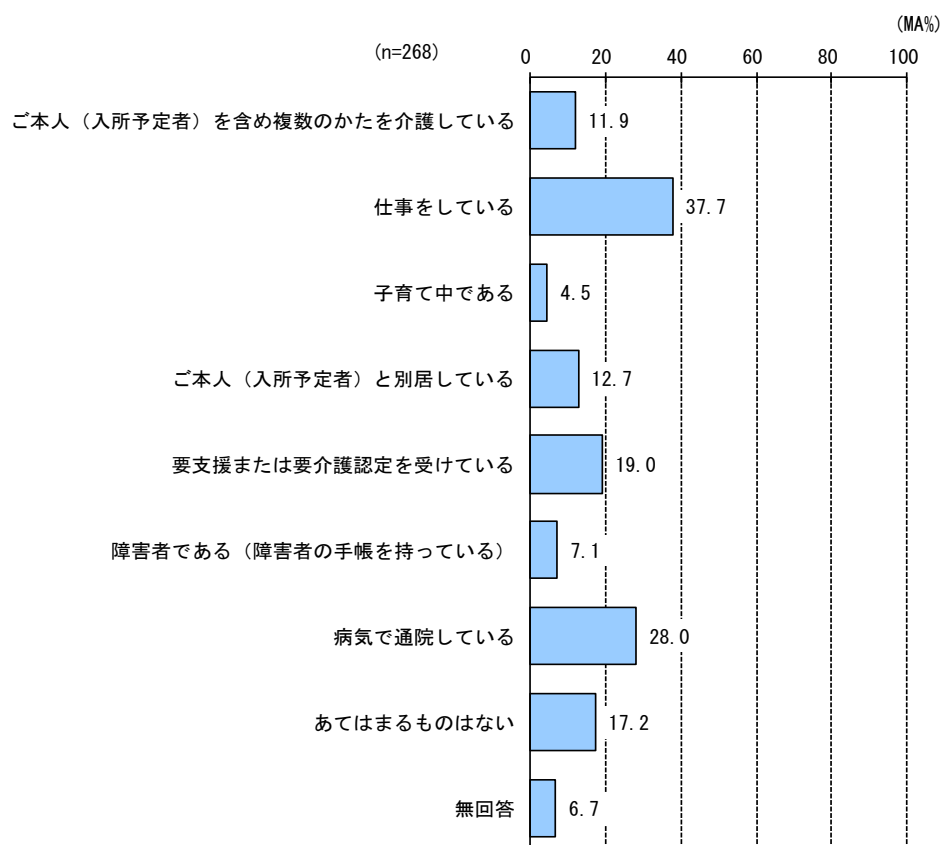


### 【主介護者と主介護者の年齢】

単位：%

	母数 (n)	主介護者の年齢						無 回 答	
		4 0 歳 未 満	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 代	8 0 歳 以 上		
全体	268	0.7	6.7	22.4	20.5	27.6	14.9	7.1	
主 介 護 者	配偶者（夫または妻）	104	-	-	2.9	5.8	53.8	32.7	4.8
	息子・娘	112	0.9	12.5	36.6	34.8	10.7	2.7	1.8
	息子・娘の配偶者	27	-	7.4	48.1	29.6	7.4	-	7.4
	孫	-	-	-	-	-	-	-	-
	兄弟姉妹	5	-	-	20.0	20.0	60.0	-	-
	その他の親族	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	その他	19	5.3	10.5	10.5	5.3	5.3	10.5	52.6

### 【主介護者の状態・状況】



### 【主介護者と主介護者の状態・状況】

単位：％

	母数 (n)	主介護者の状態・状況(MA)									
		たご本人(入所予定者)を含め複数のか	仕事をしている	子育て中である	ご本人(入所予定者)と別居している	要支援または要介護認定を受けている	障害者である(障害者の手帳を持っている)	病気で通院している	あてはまるものはない	無回答	
全体	268	11.9	37.7	4.5	12.7	19.0	7.1	28.0	17.2	6.7	
主介護者	配偶者(夫または妻)	104	7.7	13.5	1.9	4.8	33.7	9.6	46.2	22.1	6.7
	息子・娘	112	12.5	57.1	7.1	18.8	11.6	7.1	21.4	14.3	1.8
	息子・娘の配偶者	27	22.2	55.6	7.4	18.5	3.7	3.7	-	14.8	7.4
	孫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	兄弟姉妹	5	-	80.0	-	20.0	-	-	40.0	-	-
	その他の親族	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	その他	19	21.1	21.1	-	5.3	10.5	-	5.3	15.8	36.8

### (3) 申し込み状況等

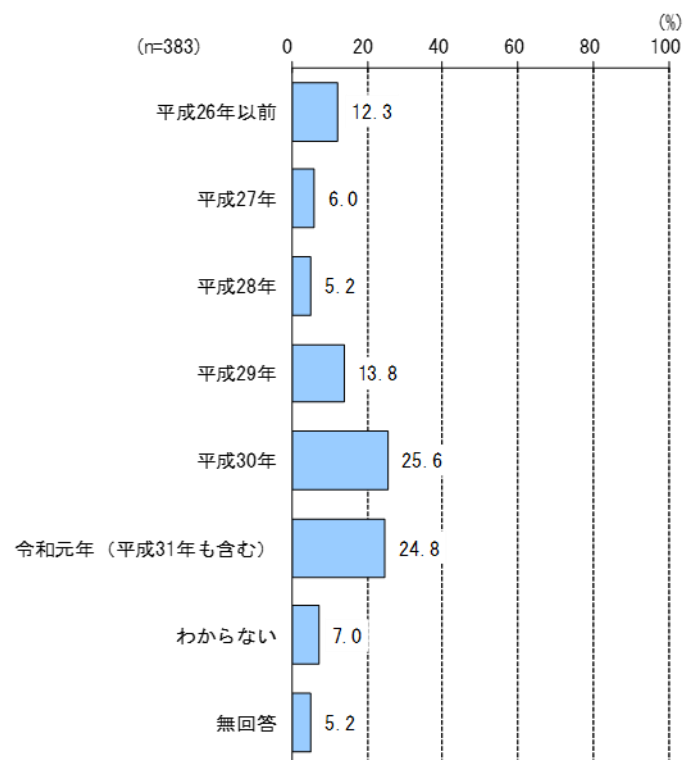
【特別養護老人ホームの入所申し込み、2年待ちが最も多く、またサ高住入居者でも入所希望は多い】

- **入所申し込み時期**は、「平成30年」が25.6%で最も多く、次いで「令和元年(平成31年も含む)」が24.8%、「平成29年」が13.8%となっています。過去2年間(平成30年以降)で入所申し込みをした方が50.4%となっています。
- **入所申し込み箇所数**は、「1か所」が59.3%で最も多く、次いで「2か所」が19.3%、「3か所」が8.6%となっています。最初の申し込み時期をみると、時期に係わらず「1か所」が多くなっています。
- **入所申し込み理由**は、「家族(介護者)が介護を続けることが困難になってきたため」が52.0%で最も多く、次いで「日常的に介護する人がいないため」が35.5%、「今は自宅で生活できているが、将来に対する不安を感じたため」が29.8%となっています。  
入所希望時期をみると、早期に入所を希望(6か月以内)では、「家族(介護者)が介護を続けることが困難になってきたため」が66.2%で最も多く、次いで「日常的に介護する人がいないため」が49.0%、「病院や他の施設に入院・入所中だが、経済的な負担が大きいため」が37.9%となっています。
- **入所希望時期**は、「時期は未定だが、ご本人(入所予定者)や主に介護している方の体調など、今と状況が変わった場合に入所したい」が38.4%で最も多く、次いで「いますぐ(1か月以内)に入所したい」が24.5%、「6か月以内に入所したい」が13.3%となっています。  
本人の生活場所をみると、自宅(家族などとの同居も含む)、認知症高齢者グループホーム以外の場所では、「いますぐ(1か月以内)に入所したい」が最も多くなっています。その中でも、病院または診療所(入院中)は43.6%と緊急性が高く、次いで、有料老人ホーム又はサービス付高齢者向け住宅で31.0%と多くなっています。また、いますぐと6か月以内に入所したいを合わせると、

有料老人ホーム又はサービス付高齢者向け住宅で 55.1%と最も多く、特別養護老人ホーム入所申込者の待機場所になっていることが伺えます。

- **早く入所したい理由**は、「介護をする人の身体的・精神的負担が大きく、十分な介護が難しい」が 53.1%で最も多く、次いで「介護をする人が「高齢」「障害」「疾病」等により十分な介護が難しい」が 45.5%、「施設や病院等に入所・入院しているが、経済的な負担が大きい」が 38.6%となっています。
- **入所の連絡**は、「入所の連絡がきていない」が 70.5%、「入所の連絡があったが断った」が 16.7%となっています。
- **入所を断った理由**は、「まだ在宅での生活ができるため」「その他」がともに 42.2%で最も多く、次いで「入所に要する費用が高額であるため」が 21.9%、「現在住んでいる場所から距離が遠かったため」が 10.9%となっています。
- **他の福祉施設の比較検討状況**は、「検討していない」が 39.4%で最も多く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム」が 33.4%、「グループホーム」が 21.9%となっています。
- **サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホームを選ばなかった理由**は、「入居費用が高いと感じたから」が 75.8%で最も多く、次いで「その他」が 14.8%、「提供するサービス内容が合わないから」が 12.5%となっています。他施設に比べて入居時の費用負担が大きいことが理由になっています。
- **グループホームを選ばなかった理由**は、「入居費用が高いと感じたから」が 47.6%で最も多く、次いで「その他」が 27.4%、「この住宅がどんなものかよく知らないから」が 13.1%となっています。

【特別養護老人ホームの入所申し込み時期】



【入所希望時期と入所申し込み理由】

単位：％

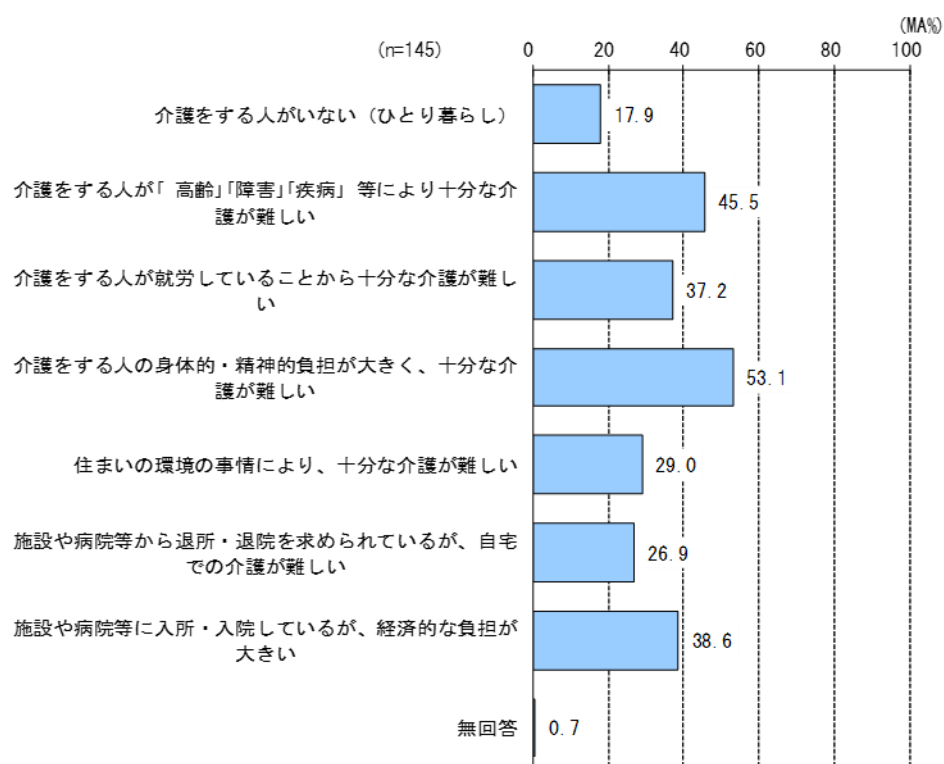
		母数 (n)	特別養護老人ホームの入所申し込み理由(MA)								
			日常的に介護する人がいないため	家族(介護者)が介護を続けることが困難になつてきたため	今は自宅で生活できているが、将来に對する不安を感じたため	退院・退所の期限があるため	病院や他の施設に入院・入所中だが、経済的な負担が大きい	経済的な負担が大きいため	自宅近所に介護等のサービスを提供する事業所がないため	医師やケアマネジャーに勧められたため	その他
全体		383	35.5	52.0	29.8	23.2	21.4	0.5	24.8	7.3	5.5
望入時期希	早期に入所を希望(6か月以内)	145	49.0	66.2	17.9	30.3	37.9	0.7	29.7	7.6	0.7
	今と状況が変わった場合	147	19.7	45.6	53.7	15.6	12.9	-	22.4	8.8	2.0
	その他	37	48.6	35.1	16.2	21.6	10.8	-	24.3	5.4	2.7

## 【本人の生活場所と入所希望時期】

単位：％

	母数 (n)	特別養護老人ホームの入所希望時期						
		入所 したい (1 か月 以内)	6 か月 以内 に入 所し たい	所 とし たい 状況 が変 わつ た場 合に 入 今	時 期は 未定 だが 、ご 本人 に介 護	そ の 他	無 回 答	以 内 に 入 所 し た い + 6 か 月 (再 掲)
全体	383	24.5	13.3	38.4	9.7	14.1	37.8	
本人 の 生 活 場 所	自宅（家族などとの同居も含む）	133	16.5	12.0	65.4	3.0	3.0	28.5
	病院または診療所（入院中）	39	43.6	10.3	20.5	17.9	7.7	53.9
	介護老人保健施設	112	29.5	17.9	27.7	9.8	15.2	47.4
	特別養護老人ホーム	26	26.9	-	7.7	11.5	53.8	26.9
	認知症高齢者グループホーム	22	4.5	9.1	40.9	22.7	22.7	13.6
	ケアハウス（軽費老人ホーム）	2	-	50.0	50.0	-	-	50.0
	有料老人ホーム又はサービス付高齢者向け住宅	29	31.0	24.1	20.7	17.2	6.9	55.1
	その他	10	40.0	10.0	30.0	20.0	-	50.0

## 【特別養護老人ホームに早く入所したい理由】



## 2. ケアマネジャー調査

### (1) 実施概要

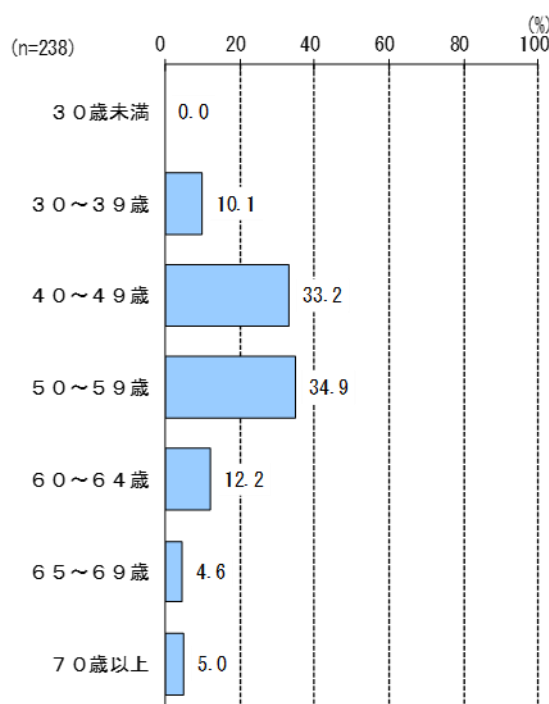
調査目的	ケアマネジャーの就労実態の把握、今後充実が必要と考えるサービス等課題整理等を目的として実施			
対象者	柏市介護支援専門員協議会に加入し、介護支援専門員として従事している会員			
実施期間	令和元年11月22日 ～ 12月13日			
実施方法	郵送配布－郵送回収			
配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
341件	238件	69.8%	238件	69.8%

### (2) 回答者の属性

【回答者は女性が8割弱、50歳代・居宅介護支援事業所の所属のケアマネジャーが最も多い】

- 性別は、「男性」が21.0%、「女性」が77.7%となっています。
- 年齢は、「50～59歳」が34.9%で最も多く、次いで「40～49歳」が33.2%、「60～64歳」が12.2%となっています。
- 所属事業所は、「居宅介護支援事業所」が73.5%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が15.1%、「施設・居住系サービス事業所」が10.5%となっています。

【年齢】



### (3) 業務の状況

【ケアマネジャーは5年以上の従事者が6割強、常勤が約8割】

- ケアマネジャー業務の従事期間は、「5年以上」が64.7%で最も多く、次いで「2年以上5年未満」



が23.1%、「2年未満」が12.2%となっています。

- **勤務形態**は、「常勤・専従」が65.1%で最も多く、次いで「非常勤・専従」が16.8%、「常勤・兼務」が15.1%となっています。合わせると「常勤」との回答が約8割を占めています。

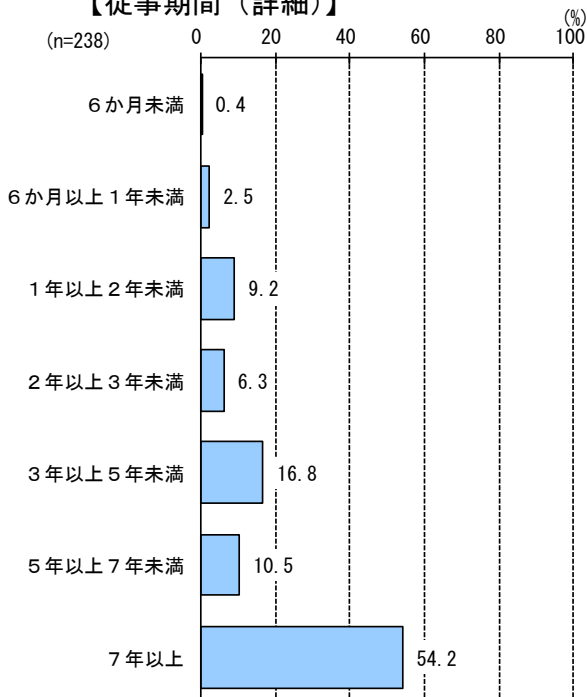
**【ケアマネジャーの約6割が困難事例への対応に課題、相談相手の約7割が地域包括支援センター】**

- **業務上、わからないことや困ったこと**は、「困難事例への対応に関すること」が58.8%で最も多く、次いで「医療に関すること」が45.4%、「介護保険外のサービスの利用に関すること（在宅福祉・インフォーマルサービス）」が44.1%となっています。
- **わからないことや困ったことがあったときの相談相手**は、「地域包括支援センター」が71.8%で最も多く、次いで「行政」が58.8%、「主任ケアマネジャー」が44.5%となっています。

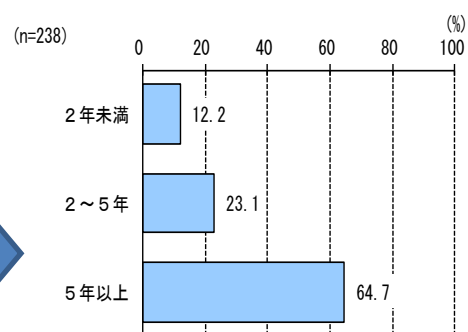
**【研修会への参加ニーズは高い、苦情の多いサービスの質の向上は重点課題】**

- **ケアマネジャー向け研修会への参加頻度**は、「半分程度は参加している」が42.0%で最も多く、次いで「ほとんど参加している」が39.1%、「あまり参加していない」が17.6%となっています。業務従事期間をみると、2年未満では、「あまり参加していない」が27.6%と、2年以上と比べて多くなっています。また、5年以上では、「ほとんど参加している」が45.5%と多くなっています。
- **ケアマネジャー向け研修会に参加しない理由**は、「時間・地理的な制約」が75.0%で最も多く、次いで「その他」が22.7%、「自分の意思」が15.9%となっています。
- **自立支援・重度化防止を進めるためにケアマネジャーの役割として重要なこと**は、「適切なアセスメント・モニタリング」が62.6%で最も多く、次いで「サービス担当者間の支援方針の共有」が16.4%、「利用者への説明と同意」が9.2%となっています。
- **ケアマネジャー業務のレベルアップのための取り組み**は、「研修への参加（外部）」が89.1%で最も多く、次いで「職場内外からの助言・指導」が62.2%、「研修への参加（内部）」が53.4%となっています。
- **利用者や家族からの苦情の内容**は、「サービスの質や内容に関すること」が52.9%で最も多く、次いで「介護保険制度そのものに関すること」が44.1%、「サービス利用等の手続きに関すること」が26.5%となっています。

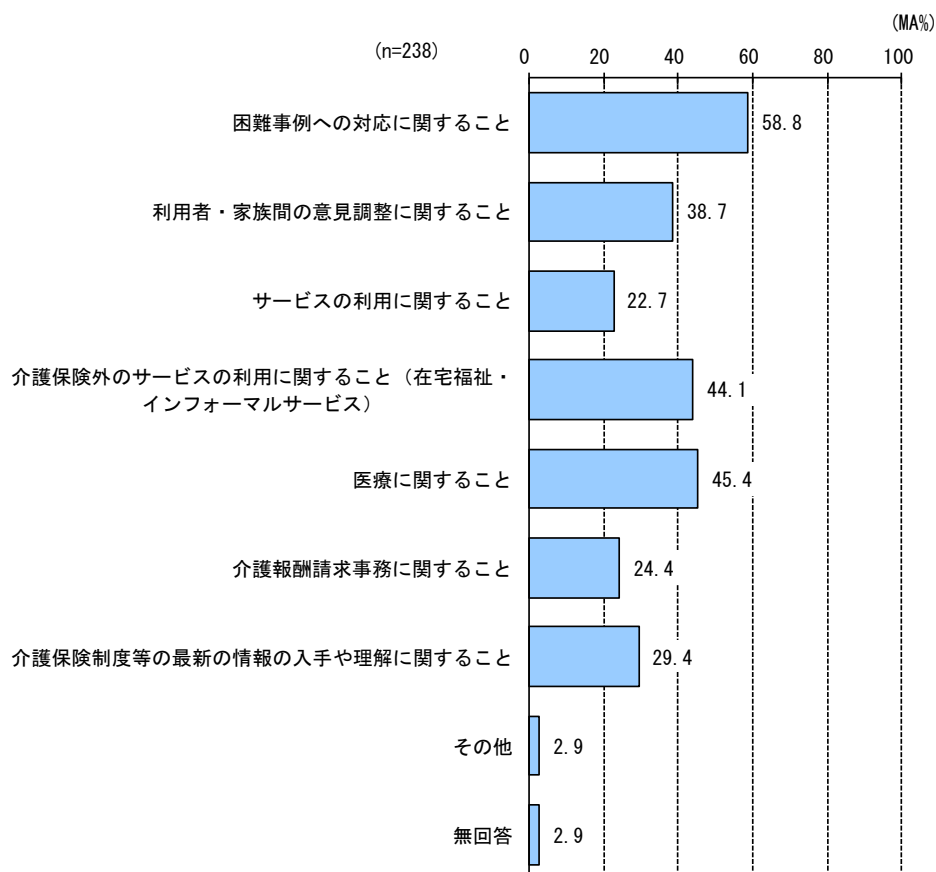
**【従事期間（詳細）】**



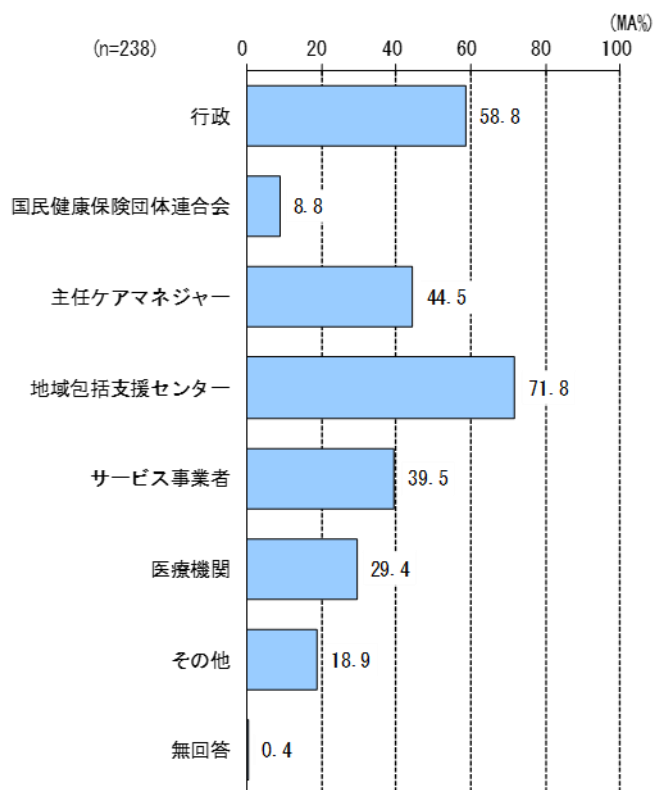
**【従事期間（概略）】**



### 【わからないことや困ったこと】



### 【わからないことや困ったことがあったときの相談相手】



### 【従事期間と研修参加頻度】

単位：%

		母数 (n)	ケアマネジャー向け研修会への参加頻度				
			ほとんど参加している	半分程度は参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
全体		238	39.1	42.0	17.6	0.8	0.4
事業 期間 に従	2年未満	29	27.6	44.8	27.6	-	-
	2～5年	55	27.3	50.9	21.8	-	-
	5年以上	154	45.5	38.3	14.3	1.3	0.6

### 【従事期間と利用者や家族からの苦情の内容】

単位：%

		母数 (n)	利用者や家族からの苦情の内容(5LA)											
			介護保険制度そのものに関する事	サービス利用等の手続きに関する事	制度やサービスの説明に関する事	利用料に関する事	サービスの質や内容に関する事	ケアマネジャーや他の従事者の資質に関する事	利用者の個人情報保護に関する事	ケアマネジャーや他の従事者の言葉づかいや態度に関する事	市役所窓口の接遇に関する事	その他	苦情はない	無回答
全体		238	44.1	26.5	14.7	23.9	52.9	22.7	2.9	13.4	10.9	6.3	9.2	0.8
事業 期間 に従	2年未満	29	41.4	31.0	24.1	17.2	41.4	20.7	-	10.3	6.9	-	6.9	3.4
	2～5年	55	49.1	29.1	14.5	25.5	56.4	14.5	3.6	10.9	9.1	9.1	5.5	1.8
	5年以上	154	42.9	24.7	13.0	24.7	53.9	26.0	3.2	14.9	12.3	6.5	11.0	-

#### (4) 介護サービス等について

##### 【医療的なケアや認知症対応、移動外出支援などに関するニーズが高い】

- **充実させるべき介護給付**は、通所リハビリテーション、短期入所療養介護、認知症対応型通所介護、夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護の6サービスで回答が多くなっています。中でも定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、約5割が「充実させるべき」と回答しています。
- **充実させるべき介護予防給付**は、介護予防通所リハビリテーションで44.5%と多くなっています。
- **充実させるべき総合事業**は、訪問介護相当サービス、訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）、訪問型サービスB（住民主体による支援）の3サービスで回答が多くなっています。
- **充実させるべき柏市の在宅福祉サービス**は、送迎費助成が35.7%と多くなっています。また、配食サービス、訪問理髪費助成、居宅サービス利用者負担金助成などは、一定割合「充実させるべき」との回答があるものの、「あてはまらない」（充実しなくてよい）との回答が「充実させ

るべき」を上回っています。

- **インフォーマルなサービスをプランに位置付けた経験があるか**では、「はい」が85.3%、「いいえ」が12.6%となっています。業務従事期間をみると、2年未満では、「いいえ」が31.0%と2年以上と比べて多くなっています。
- **現在不足しているインフォーマルなサービス**は、外出時の付き添い（通院等）が42.9%で最も多く、次いで、ごみ出しが36.5%となっています。また、「利用したことがある」では、草取り・剪定が53.2%で最も多く、次いで、ごみ出しが47.3%と多くなっています。
- **インフォーマルサービスをプランに位置付けたことがない理由**は、「利用できる範囲（距離）にサービスがないため」「利用したことがないため」がともに36.7%で最も多く、次いで「信頼をおけるか確信が持てないため」及び「料金が高額になるため」が23.3%、「その他」が20.0%となっています。
- **定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所や小規模多機能型居宅介護事業所における利用者の伸び悩み理由**は、「小規模多機能型居宅介護については、担当のケアマネを変更する必要があるため」が41.6%で最も多く、次いで「サービスの使い勝手が悪いため」が36.1%、「ケアマネジャーがサービスの内容や利点をあまり知らない（周知が足りない）」が31.5%となっています。
- **担当している利用者のうち特養待機者の人数**は、238人中204人から回答があり、合計284人、平均1.4人でした。そのうち、特別養護老人ホームに入所する緊急の必要性があると思われるかたは、238人中171人から回答があり、合計99人、平均0.6人でした。
- **地域包括支援センターとの連携状況**は、医療機関との連携以外の5項目で「連携している」が最も多くなっています。また、「連携している」と「それなりに連携している」を合わせると、困難事例への対応や、資質向上に向けた研修で約7割が「連携している」と回答しています。
- **医療・介護関係者との連携状況**は、「とれている」と「まあとれている」を合わせると、サービス提供事業者では約9割、地域包括支援センター職員では約7割が「とれている」と回答しています。
- **医療連携で充実させるべきこと**は、「緊急時の入院の受け入れ先の確保」が56.3%で最も多く、次いで「退院情報のタイムリーな提供や医療ソーシャルワーカー（MSW）等との連携体制の構築」が54.2%、「医師との連携」が50.8%となっています。

【充実させるべき介護給付】

問 1 4 (1) 介護給付	母数 (n)	多 利 用 希 望	い ち つ ち 充 実 し て	充 実 さ せ る べ き	あ ら な い は ま	無 回 答
(1) 通所介護	238 100	164 68.9	120 50.4	44 18.5	6 2.5	20 8.4
(2) 通所リハビリテーション	238 100	73 30.7	39 16.4	94 39.5	37 15.5	38 16.0
(3) 訪問介護	238 100	124 52.1	62 26.1	91 38.2	17 7.1	26 10.9
(4) 訪問入浴介護	238 100	5 2.1	75 31.5	20 8.4	83 34.9	58 24.4
(5) 訪問リハビリテーション	238 100	54 22.7	82 34.5	60 25.2	41 17.2	38 16.0
(6) 訪問看護	238 100	59 24.8	119 50.0	43 18.1	25 10.5	32 13.4
(7) 居宅療養管理指導	238 100	26 10.9	79 33.2	39 16.4	63 26.5	52 21.8
(8) 福祉用具貸与	238 100	128 53.8	157 66.0	6 2.5	13 5.5	25 10.5
(9) 特定福祉用具販売	238 100	63 26.5	141 59.2	6 2.5	32 13.4	41 17.2
(10) 住宅改修費支給	238 100	66 27.7	124 52.1	17 7.1	36 15.1	38 16.0
(11) 短期入所生活介護	238 100	68 28.6	74 31.1	72 30.3	35 14.7	36 15.1
(12) 短期入所療養介護	238 100	15 6.3	24 10.1	91 38.2	68 28.6	54 22.7
(13) 通所介護	238 100	117 49.2	88 37.0	51 21.4	17 7.1	36 15.1
(14) 療養型通所介護	238 100	1 0.4	0 0.0	48 20.2	80 33.6	110 46.2
(15) 認知症対応型通所介護	238 100	23 9.7	17 7.1	103 43.3	60 25.2	50 21.0
(16) 小規模多機能型居宅介護	238 100	9 3.8	22 9.2	65 27.3	93 39.1	56 23.5
(17) 夜間対応型訪問介護	238 100	9 3.8	13 5.5	99 41.6	77 32.4	48 20.2
(18) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	238 100	15 6.3	12 5.0	116 48.7	60 25.2	49 20.6
(19) 看護小規模多機能型居宅介護	238 100	6 2.5	10 4.2	93 39.1	82 34.5	53 22.3

【充実させるべき介護予防給付】

問 1 4 (2) 予防給付	母数 (n)	多 利 用 希 望	い ち つ ち 充 実 し て	充 実 さ せ る べ き	あ て は ま ら な い	無 回 答
(1) 介護予防通所リハビリテーション	238 100	82 34.5	36 15.1	106 44.5	41 17.2	34 14.3
(2) 介護予防訪問入浴介護	238 100	3 1.3	25 10.5	17 7.1	140 58.8	55 23.1
(3) 介護予防訪問リハビリテーション	238 100	27 11.3	42 17.6	45 18.9	90 37.8	46 19.3
(4) 介護予防訪問看護	238 100	18 7.6	70 29.4	29 12.2	85 35.7	47 19.7
(5) 介護予防居宅療養管理指導	238 100	5 2.1	47 19.7	20 8.4	113 47.5	55 23.1
(6) 介護予防福祉用具貸与	238 100	82 34.5	122 51.3	14 5.9	31 13.0	35 14.7
(7) 特定介護予防福祉用具販売	238 100	50 21.0	111 46.6	10 4.2	50 21.0	50 21.0
(8) 介護予防住宅改修費支給	238 100	52 21.8	102 42.9	13 5.5	53 22.3	47 19.7
(9) 介護予防短期入所生活介護	238 100	8 3.4	50 21.0	42 17.6	89 37.4	53 22.3
(10) 介護予防短期入所療養介護	238 100	1 0.4	26 10.9	42 17.6	114 47.9	55 23.1
(11) 介護予防認知症対応型通所介護	238 100	14 5.9	18 7.6	61 25.6	103 43.3	50 21.0
(12) 介護予防小規模多機能型居宅介護	238 100	11 4.6	18 7.6	45 18.9	117 49.2	51 21.4

【充実させるべき総合事業】

問 1 4 (3) 総合事業	母数 (n)	い ち つ ち 利 用 希 望 多	充 実 し て い	充 実 さ せ る べ き	あ て は ま ら な い	無 回 答
(1) 訪問介護相当サービス	238 100	76 31.9	34 14.3	101 42.4	43 18.1	44 18.5
(2) サービスA (緩和した基準によるサービス)	238 100	15 6.3	9 3.8	94 39.5	75 31.5	57 23.9
(3) サービスB (住民主体による支援)	238 100	8 3.4	8 3.4	90 37.8	85 35.7	54 22.7
(4) サービスC (短期集中予防サービス)	238 100	1 0.4	0 0.0	36 15.1	113 47.5	88 37.0
(5) サービスD (移動支援)	238 100	15 6.3	0 0.0	69 29.0	74 31.1	89 37.4
(6) 通所介護相当サービス	238 100	85 35.7	50 21.0	72 30.3	48 20.2	42 17.6
(7) サービスA (緩和した基準によるサービス)	238 100	9 3.8	0 0.0	57 23.9	92 38.7	86 36.1
(8) サービスB (住民主体による支援)	238 100	5 2.1	0 0.0	51 21.4	99 41.6	87 36.6
(9) サービスC (短期集中予防サービス)	238 100	2 0.8	0 0.0	37 15.5	112 47.1	88 37.0

【充実させるべき柏市の在宅福祉サービス】

	母数 (n)	多 利 用 希 望	充 実 し て い る	充 実 さ せ る べ き	あ て は ま ら な い	無 回 答
(1)介護用品（紙おむつ）給付	238 100	147 61.8	109 45.8	40 16.8	17 7.1	19 8.0
(2)生活支援短期宿泊	238 100	5 2.1	18 7.6	36 15.1	125 52.5	57 23.9
(3)緊急通報システム	238 100	57 23.9	76 31.9	56 23.5	47 19.7	33 13.9
(4)寝具乾燥消毒	238 100	7 2.9	56 23.5	29 12.2	100 42.0	51 21.4
(5)寝具丸洗い	238 100	4 1.7	46 19.3	31 13.0	109 45.8	51 21.4
(6)配食サービス費助成	238 100	22 9.2	25 10.5	74 31.1	87 36.6	44 18.5
(7)送迎費助成	238 100	25 10.5	20 8.4	85 35.7	76 31.9	48 20.2
(8)訪問理髪費助成	238 100	14 5.9	28 11.8	57 23.9	95 39.9	50 21.0
(9)要介護高齢者等住宅改造費補助	238 100	20 8.4	36 15.1	49 20.6	92 38.7	51 21.4
(10)居宅サービス利用者負担金助成	238 100	20 8.4	42 17.6	59 24.8	79 33.2	50 21.0

【関係者との連携】

	母数 (n)	と れ て い る	ま あ と れ て い る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り と れ て い な い	と れ て い な い	無 回 答	ま あ と れ て い る + (再掲)	十 あ ま り と れ て い な い + (再掲)
(1) サービス提供事業者	238 100	113 47.5	98 41.2	8 3.4	0 0.0	1 0.4	18 7.6	211 88.7	1 0.4
(2) 医療機関（主治医）	238 100	20 8.4	59 24.8	92 38.7	42 17.6	10 4.2	15 6.3	79 33.2	52 21.8
(3) 医療機関（MSW）	238 100	38 16.0	109 45.8	62 26.1	11 4.6	2 0.8	16 6.7	147 61.8	13 5.4
(4) 地域包括支援センター職員	238 100	91 38.2	84 35.3	28 11.8	6 2.5	5 2.1	24 10.1	175 73.5	11 4.6
(5) 柏地域医療連携センター職員	238 100	11 4.6	34 14.3	74 31.1	43 18.1	56 23.5	20 8.4	45 18.9	99 41.6
(6) 柏市役所職員	238 100	14 5.9	64 26.9	82 34.5	32 13.4	29 12.2	17 7.1	78 32.8	61 25.6
(7) 社会福祉協議会・地域支えあい推進員	238 100	21 8.8	49 20.6	64 26.9	41 17.2	45 18.9	18 7.6	70 29.4	86 36.1

### 3. 柏市在宅介護実態調査

#### (1) 実施概要

調査目的	「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労の継続」に有効な介護サービスの在り方を検討することを目的に実施		
対象者	在宅で生活している要支援・要介護者のうち「要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請」を行い、対象期間中に認定調査を受けた人		
実施期間	平成30年11月20日～令和元年10月12日		
実施方法	認定調査員による聞き取り調査		
配布数	回答数	有効回答率	
624件	624件	100%	

#### (2) 在宅限界点の向上のための支援・サービスについて

**【施設等に「申請済み」の割合は、要介護3以上で1割弱、「検討中」をあわせると3割弱】**

- 施設等検討の状況をみると、要介護3以上では「検討していない」が72.2%、「検討中」20.4%、「申請済み」7.4%でした。重度化した認定者においても7割以上のかたが在宅生活の継続を希望しています。

**【主な介護者が不安を感じる介護は、要介護3以上では「排泄」と「認知症状への対応】**

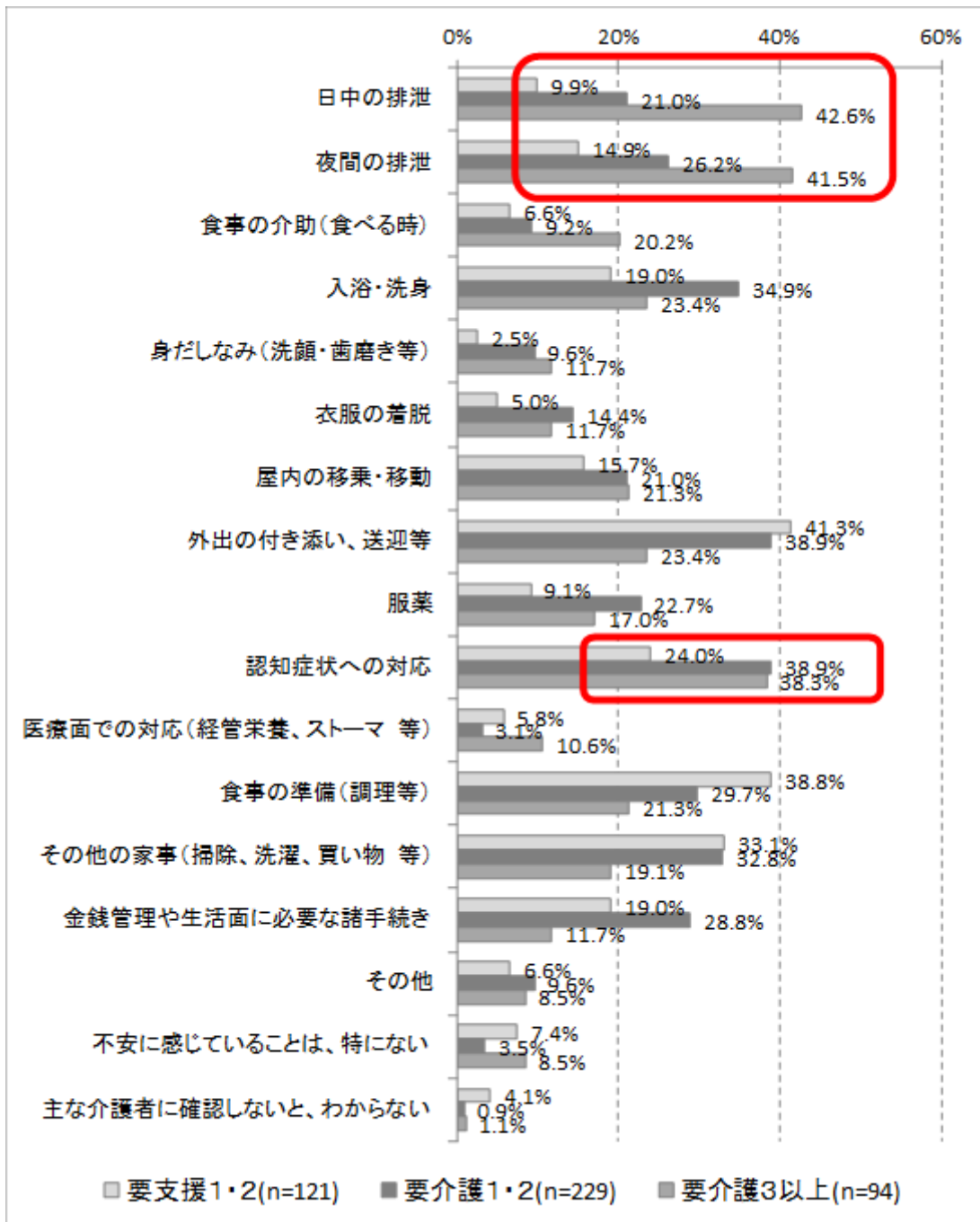
- 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じている介護について、要介護3以上では、特に「日中・夜間の排泄」と「認知症状への対応」に関して、主な介護者の不安が大きい傾向がみられました。したがって、主な介護者が「在宅生活の継続が困難」と判断する重要なポイントとして、「排泄」と「認知症」の2点が挙げられます。

**【「訪問回数」の増加に伴い、介護者の不安が軽減】**

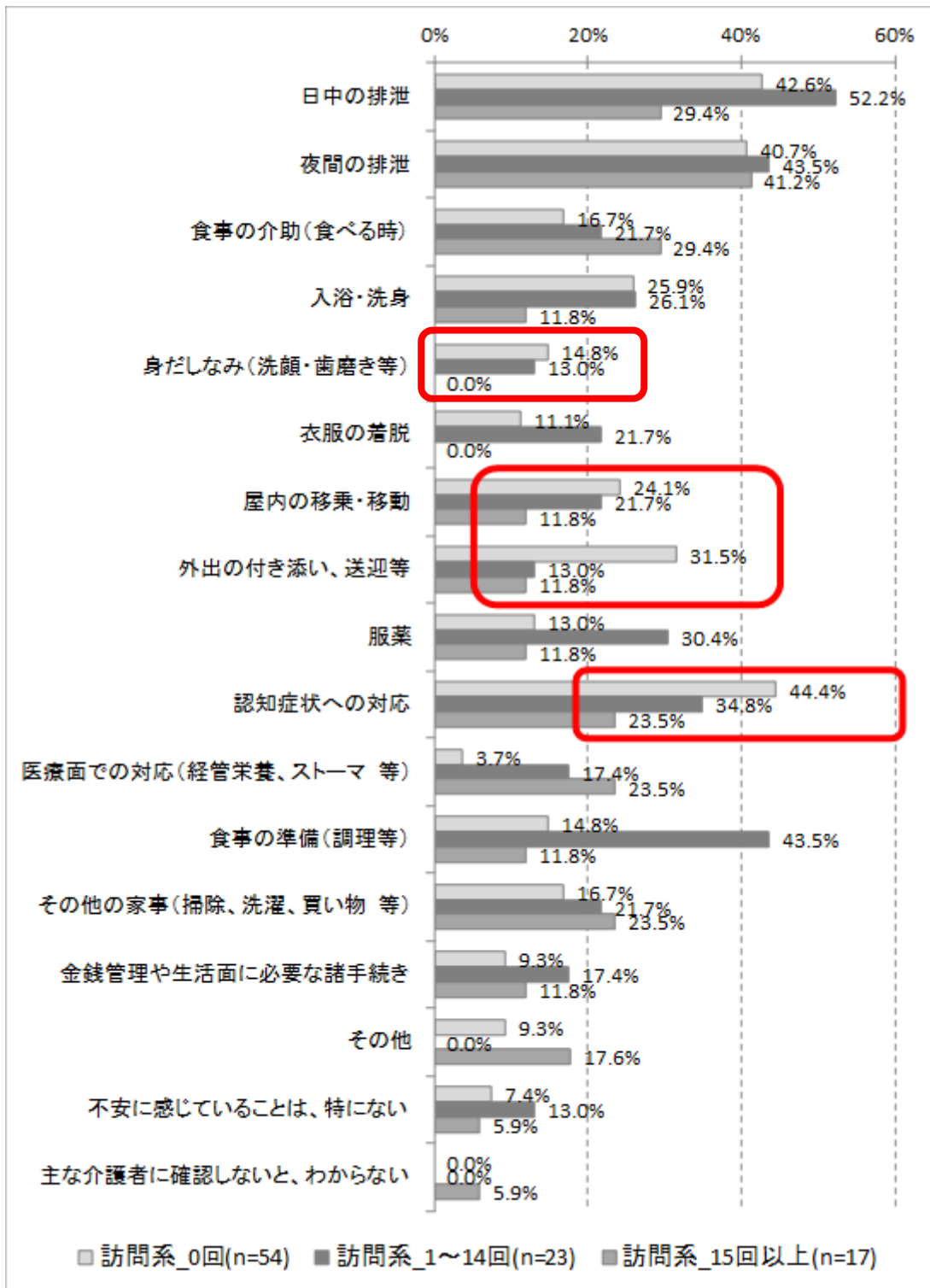
- 「介護者が不安を感じる介護」と「サービスの利用回数」の関係をみると、要介護3以上では、訪問系サービスの利用回数が増加するにつれ、介護者の「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」に係る不安を軽減する傾向がみられました。また、認知症自立度Ⅲ以上では、利用回数の増加が、介護者の「夜間の排泄」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「認知症状への対応」に係る不安を軽減する傾向がみられました。一方、通所系・短期系のレスパイト中心のサービス利用の要介護3以上では、利用回数を増やしても介護者の不安軽減にはつながっていませんでした。



【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）】



(3) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスについて

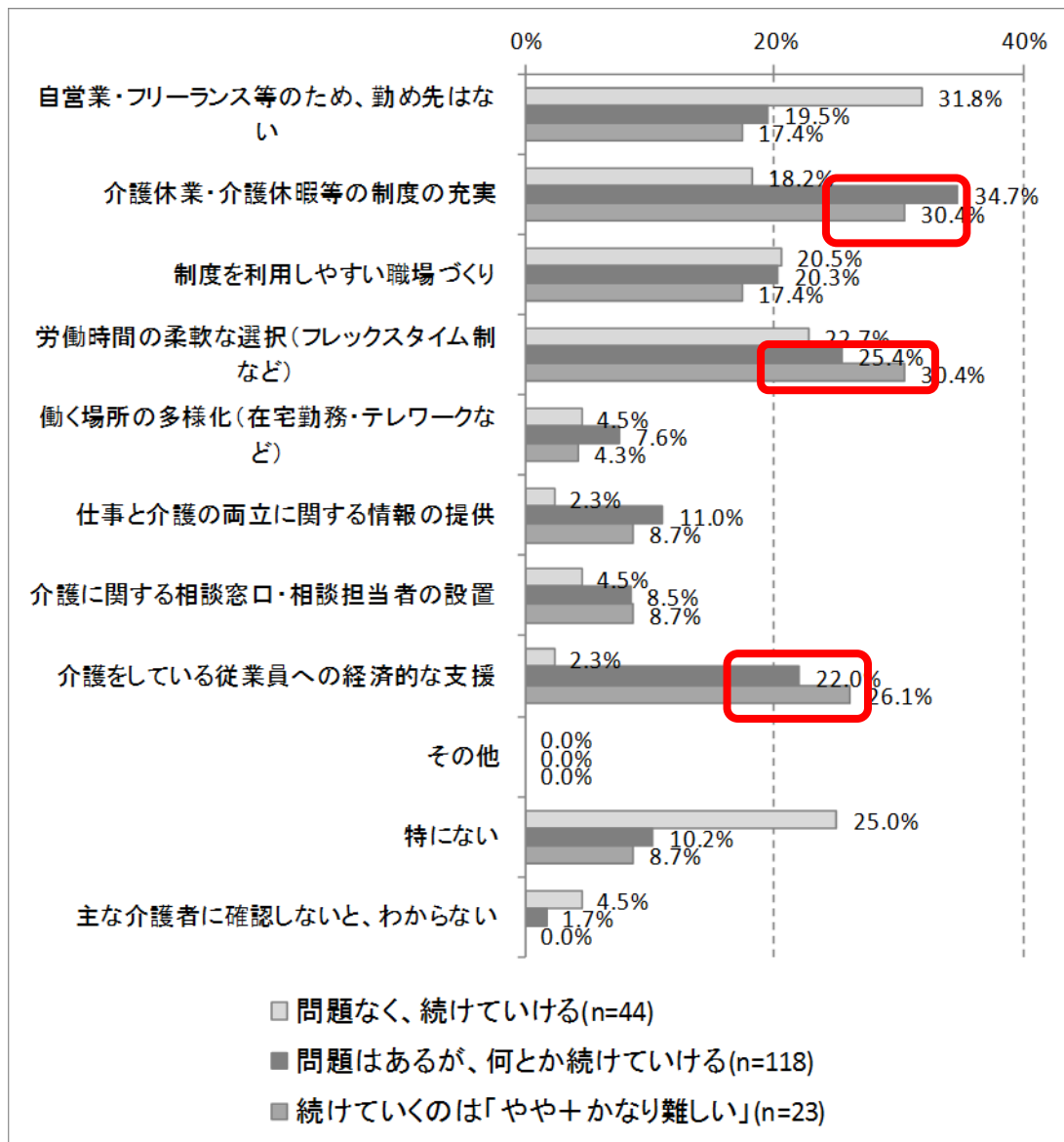
【フルタイム勤務では約7割が介護保険サービスを利用】

- 介護保険サービスの利用状況を見ると、就業時間が長くなるほどサービスを利用している割合が上昇し、パートタイムでは65.1%、フルタイム勤務では71.2%となっています。

【就業継続可能と考える介護者は、職場において働き方の調整を「特に行っていない」割合が高い】

- 就労継続見込み別にみると、何らかの調整を行っていない人は、「問題なく、続けていける」が60.9%、「問題はあるが、何とか続けていける」27.4%、「続けていくのは難しい」26.1%となっています。
- 勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか尋ねたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」「続けていくのは難しい」と回答した人では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択」「介護をしている従業員への経済的な支援」の順にニーズが高くなっています。

【就労継続見込み別・効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】



(4) 世帯類型に応じた支援・サービスについて

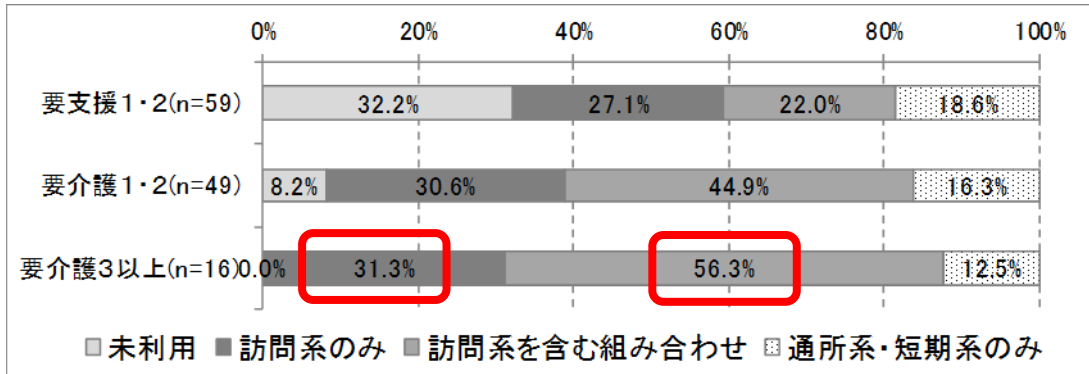
【要介護度の重度化に伴い「単身世帯」は「訪問系のみ」、 「単身世帯以外」は「訪問系を含む組み合わせ」が増加】

○ 要介護度の重度化に伴い「単身世帯」では「訪問系のみ」と「訪問系を含む組み合わせ」、「夫婦のみ世帯」では「訪問系を含む組み合わせ」、「その他世帯」ではどの組み合わせの割合も増加する傾向がみられます。

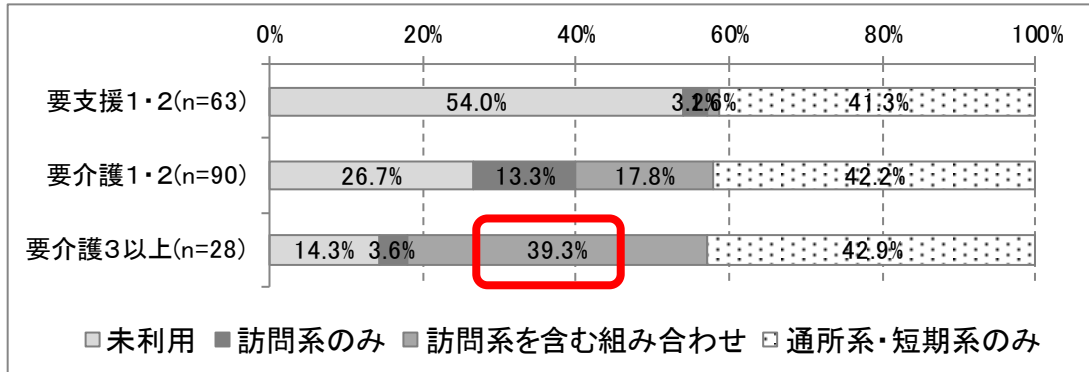
【要介護3以上において、「施設等を検討していない」割合は「単身世帯」で64.3%、「夫婦のみ世帯」65.4%、「その他世帯」80.0%】

○ 施設入所を「検討していない」は、要介護3以上の「単身世帯」で64.3%、「夫婦のみ世帯」65.4%、「その他世帯」80.0%でした。いずれの世帯でも要介護の重度化に伴い「検討していない」の割合が減少しています。

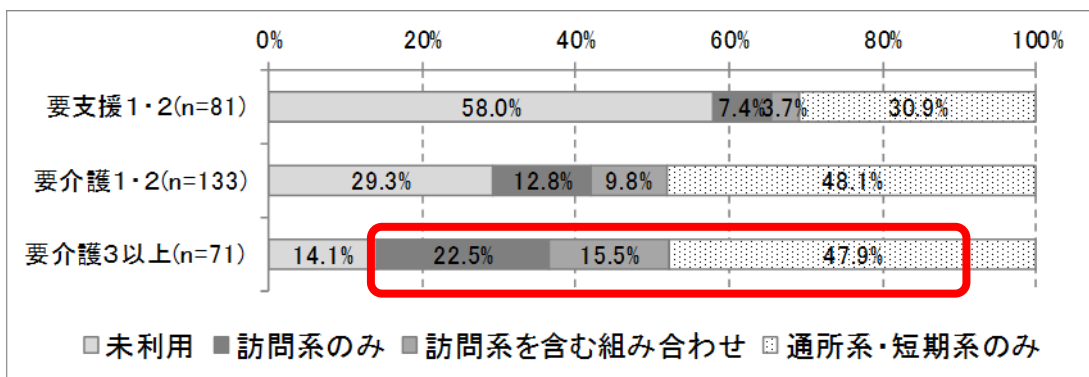
【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】



(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスについて

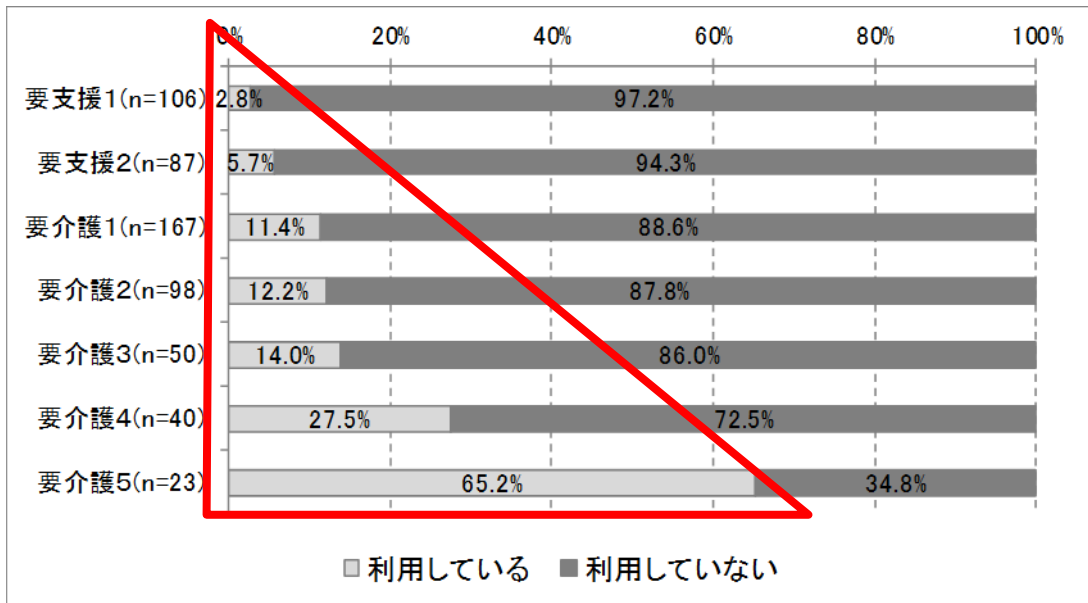
【「訪問診療」の利用割合は要介護5で65.2%と高い】

- 要介護度別の訪問診療の利用割合をみると、要介護度の重度化に伴い、訪問診療の利用割合が増加していることがわかります。具体的には、要支援1では2.8%であった訪問診療の利用割合が、要介護1では11.4%、要介護4では27.5%、要介護5では65.2%となっています。

【「訪問診療を利用している」ケースでは、短期系の利用割合が低い】

- 「訪問診療あり」では、訪問系の利用割合が87.9%と高く、一方で、短期系の利用割合は18.2%と低くなっています。

【要介護度別・訪問診療利用割合】



(6) サービス未利用の理由など

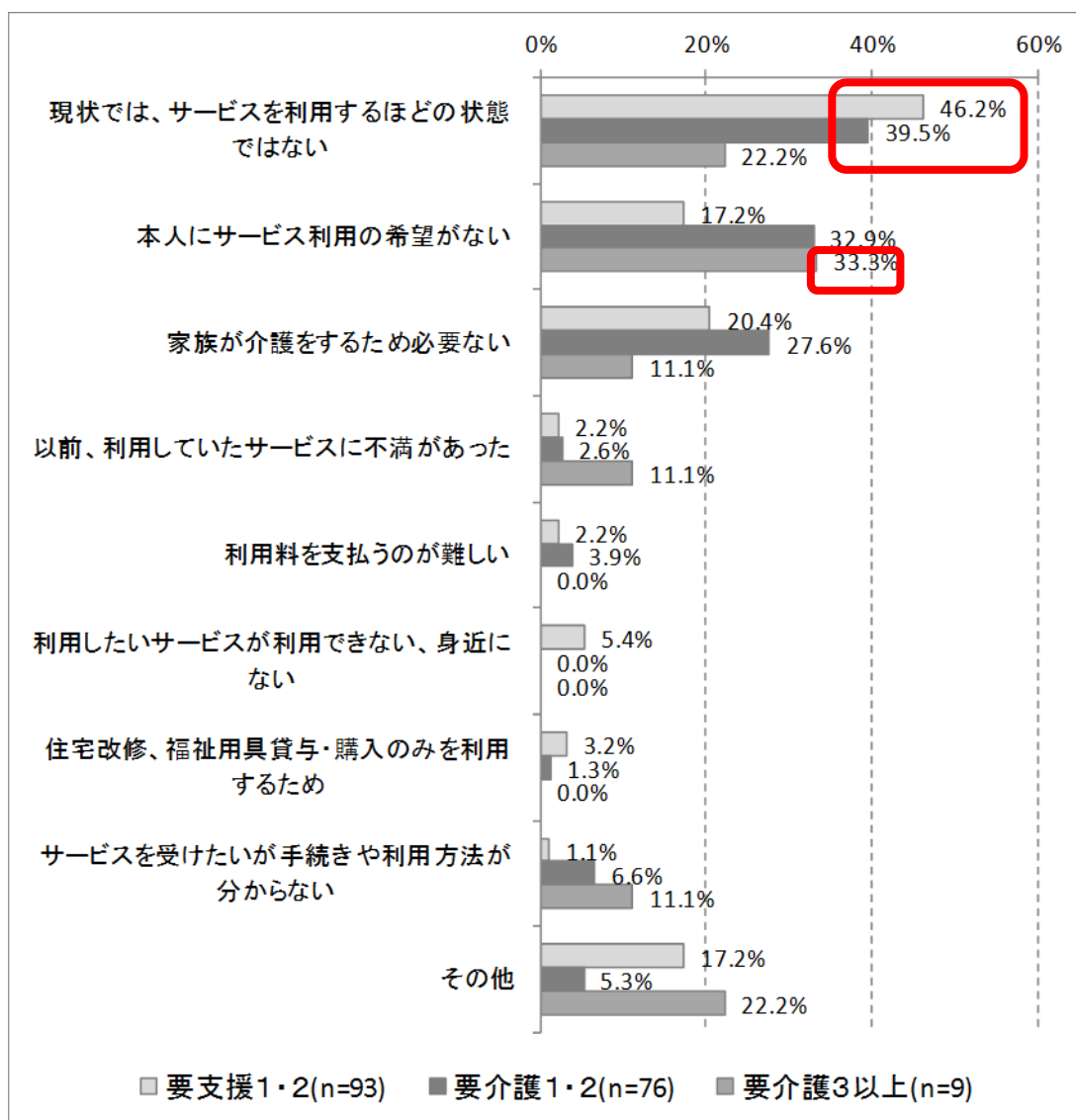
【「本人にサービス利用の希望がない」の割合は要介護3以上で3人に1人】

- 要介護度別のサービス未利用の理由をみると、要支援1・2と要介護1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高く、それぞれ46.2%、39.5%でした。要介護3以上では「本人にサービス利用の希望がない」が33.3%と最も高くなっています。

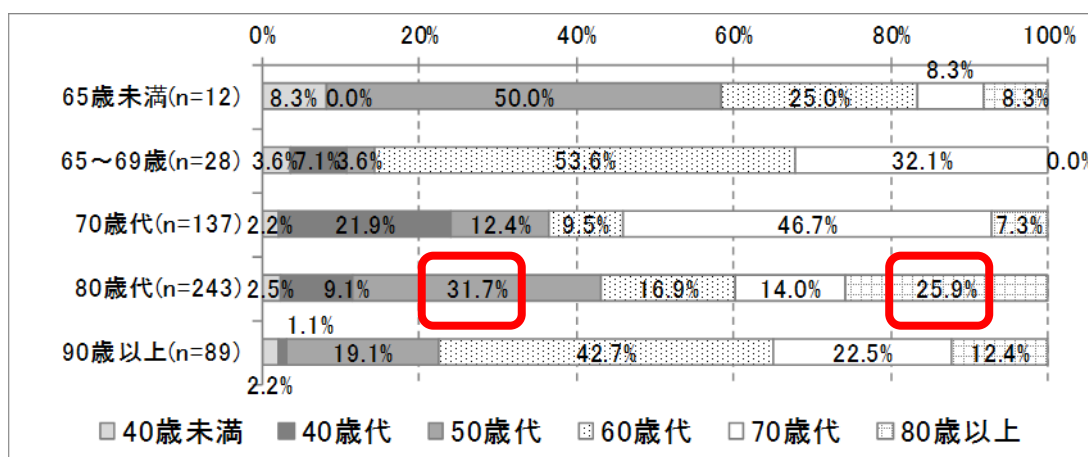
【「80歳代」の主な介護者の年齢は4人に1人は80歳以上】

- 本人の年齢で最も人数が多かった80歳代(243人)をみると、主な介護者の年齢は50歳代が31.7%と最も高く、ついで80歳以上が25.9%と多くなっています。また、70歳代14.0%と80歳以上を合わせると約4割を占めています。

### 【要介護度別のサービス未利用の理由】



### 【本人の年齢別・主な介護者の年齢】



## 4. 柏市介護保険サービス従事者調査

### (1) 実施概要

調査目的	介護現場で働く職員の就労状況等の実態を把握することで、効果的な介護人材確保対策事業を検討するため	
対象者	柏市内の介護サービス事業所の従事者（病院，診療所，歯科医院，薬局を除く）	
実施期間	令和元年9月18日から10月31日	
実施方法	インターネットのアンケートページへの入力による回答	
	調査数	回答数
	7,184件	724件
		有効回答率
		10.1%

### (2) 現在の就労状況について

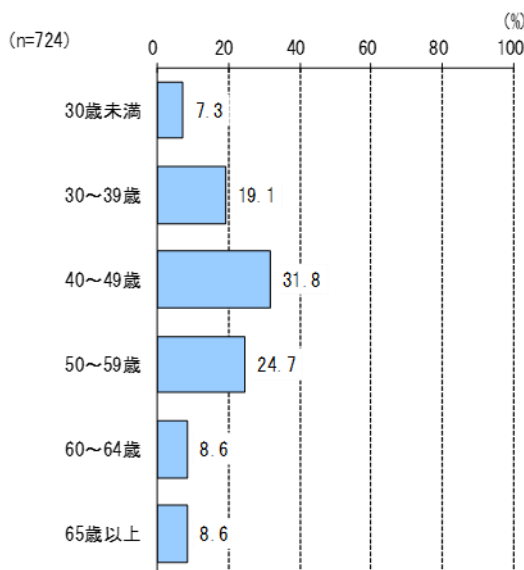
#### 【従事者の7割が女性，40歳代・50歳代が中心】

- **性別**は，全体の約7割を女性が占めており，特に，居宅介護支援，訪問（入浴）介護，（看護）小規模多機能型居宅介護では女性の割合が8割を超えています。
- **年齢**は「40～49歳」が31.8%で最も多く，次いで「50～59歳」が24.7%となっています。また，訪問（入浴）介護，通所介護，通所リハビリテーション，認知症対応型共同生活介護などでは，「65歳以上」が1割を超えています。

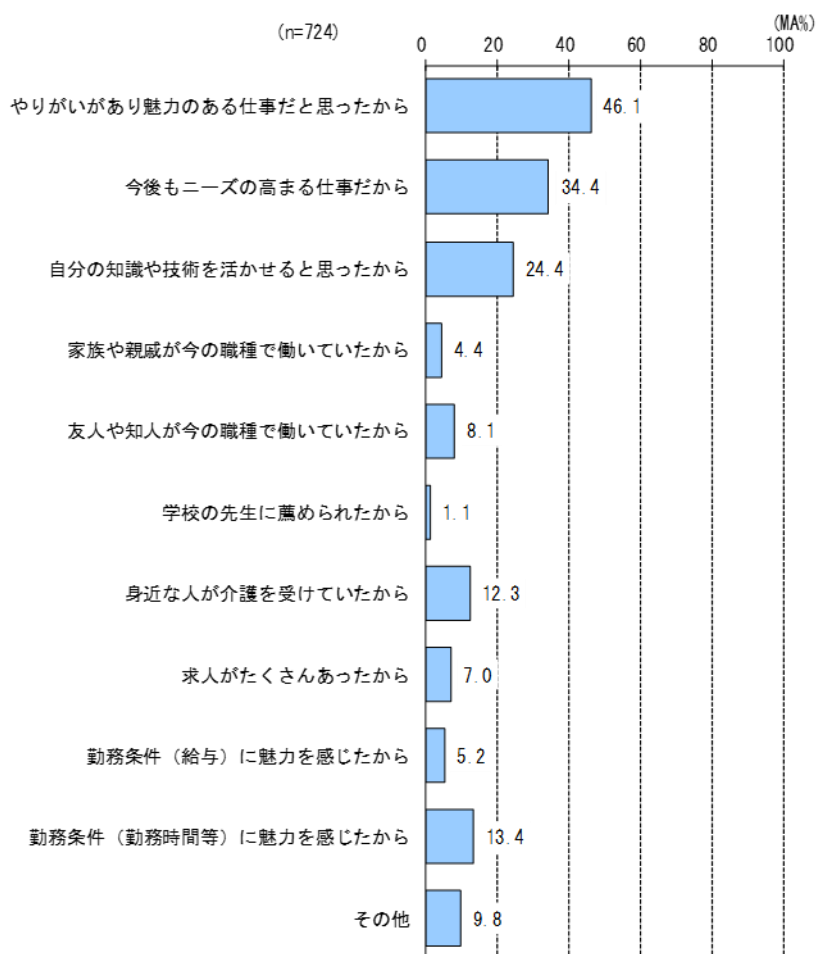
#### 【就労状況，やりがい・魅力ある仕事であると5割弱】

- **今の職種を選んだきっかけ**は，「やりがいがあり魅力のある仕事だと思ったから」が46.1%で最も多く，次いで「今後もニーズの高まる仕事だから」が34.4%，「自分の知識や技術を活かせると思ったから」が24.4%となっています。正規職員，非正規職員ともに同順位であり，雇用形態での差はみられませんでした。
- **今の職種を選ぶときに情報を集めた方法**は，「知人・友人」が31.5%で最も多く，次いで「求人誌・求人企業のホームページ」が27.6%，「ハローワーク」が16.2%となっています。
- **平均時間外勤務時間（月間）**は，「5時間未満」が46.3%で最も多く，次いで「5時間～15時間未満」が25.3%，「15時間～25時間未満」が9.3%となっています。

#### 【 年 齢 】



### 【今の職種を選んだきっかけ】



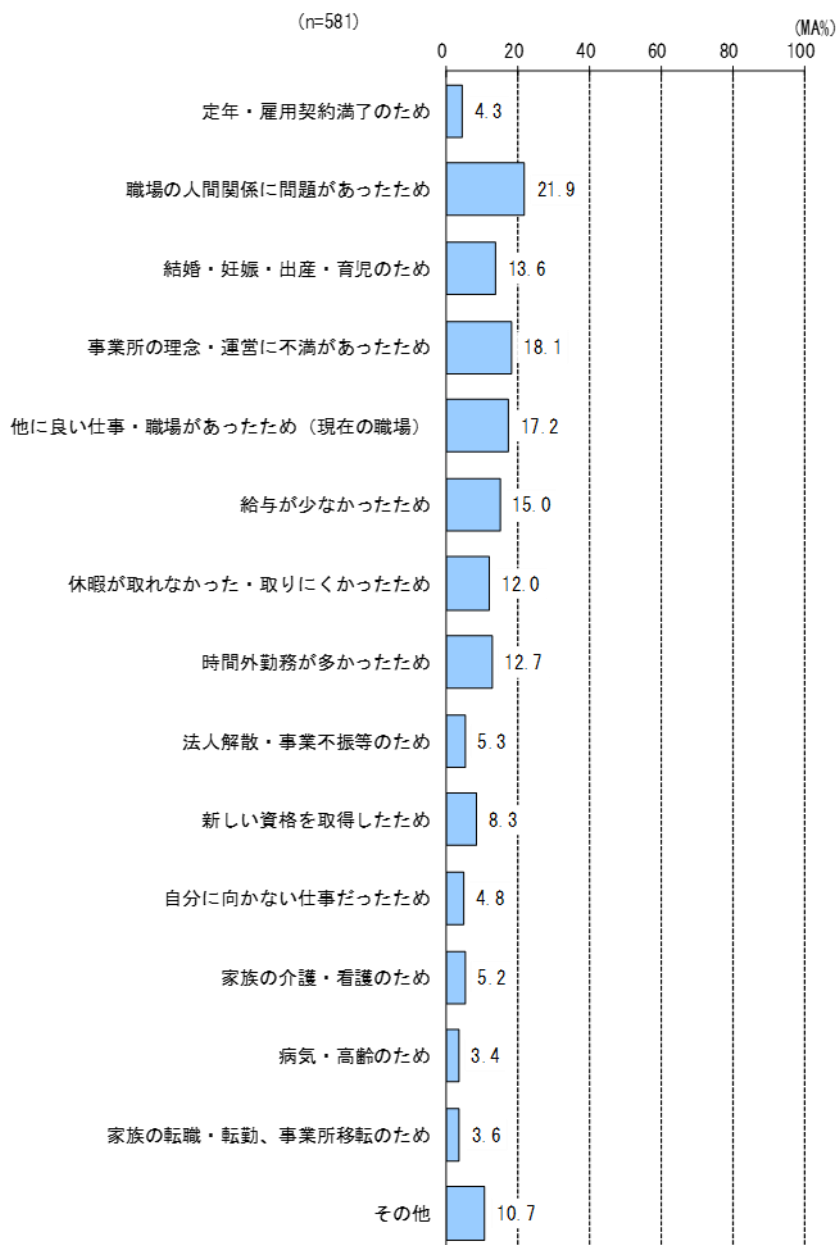
### (3) 過去の就労状況について

#### 【転職経験ありが約8割、退職理由は職場での人間関係に問題】

- **転職経験**について、「ある」が80.2%、「ない」が19.8%となっています。
- **以前勤めていた事業所での職種**は、「介護関係」が46.3%で最も多く、次いで「医療関係」が22.0%、「飲食・サービス」が9.6%となっています。
- **以前勤めていた事業所での勤務期間**は、「5年以上」が43.5%で最も多く、次いで「3年～5年未満」が23.9%、「1年～2年未満」が12.6%となっています。
- **以前勤めていた事業所を退職した理由**は、「職場の人間関係に問題があったため」が21.9%で最も多く、次いで「事業所の理念・運営に不満があったため」が18.1%、「他に良い仕事・職場があったため（現在の職場）」が17.2%となっています。



## 【以前勤めていた事業所を退職した理由】



### (4) 現在の就労状況に対する考えについて

#### 【現在の事業所について6割弱は満足、不満理由は給与額や人手不足】

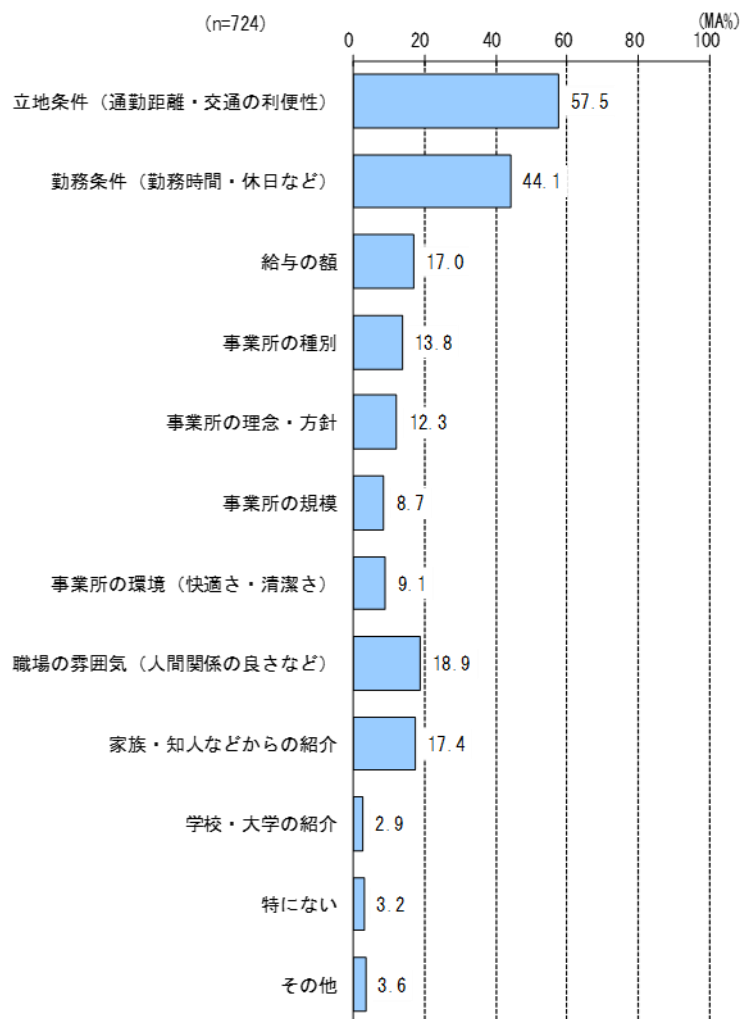
- **現在の事業所を選んだ理由**は、「立地条件（通勤距離・交通の利便性）」が57.5%で最も多く、次いで「勤務条件（勤務時間・休日など）」が44.1%、「職場の雰囲気（人間関係の良さなど）」が18.9%となっています。
- **現在の仕事の満足度**は、「やや満足している」が35.9%で最も多く、「満足している」19.8%と合わせると55.7%、「やや不満」「不満」を合わせると17.9%と、比較的「満足」が多くなっています。
- **満足理由**は、「勤務条件（休暇や労働時間）に満足している」が56.8%で最も多く、次いで「仕事にやりがいを感じる」が53.6%、「利用者と接するのが楽しい」が49.1%となっています。

- **不満理由**は、「給与の額に不満がある」が60.5%で最も多く、次いで「人員不足で利用者にきちんと対応ができない」が48.8%、「業務量が多い」が45.7%となっています。

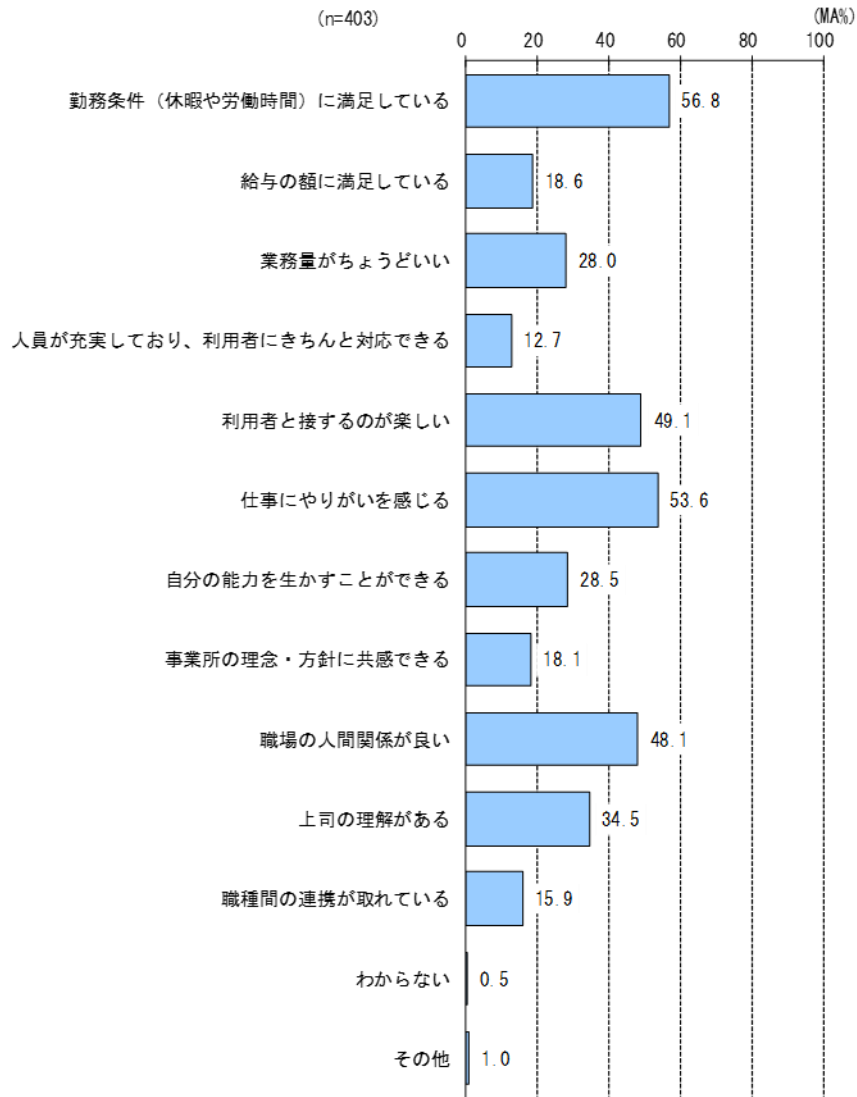
**【年収に満足している人は1割未満、処遇改善加算での増加を感じる、感じていないはほぼ同率】**

- **直近の年収の満足度**は、「概ね妥当だと思う」が29.0%で最も多く、次いで「少ないと思う」が20.9%、「やや少ないと思う」が20.6%となっており、「満足している」は9.1%に留まっています。
- **処遇改善加算の継続実施で給与の増加を感じるか**は、「感じている」「少し感じている」を合わせると39.5%、「感じていない」「あまり感じていない」を合わせた40.8%とほぼ同率となっています。

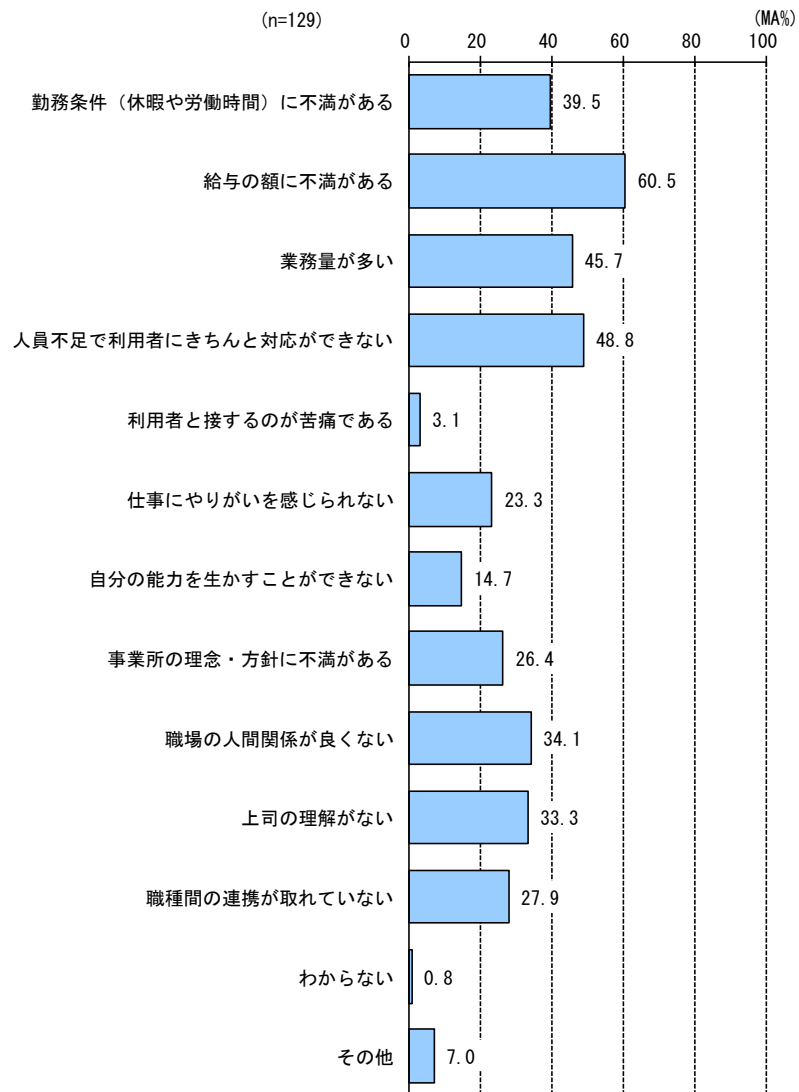
**【現在の事業所を選んだ理由】**



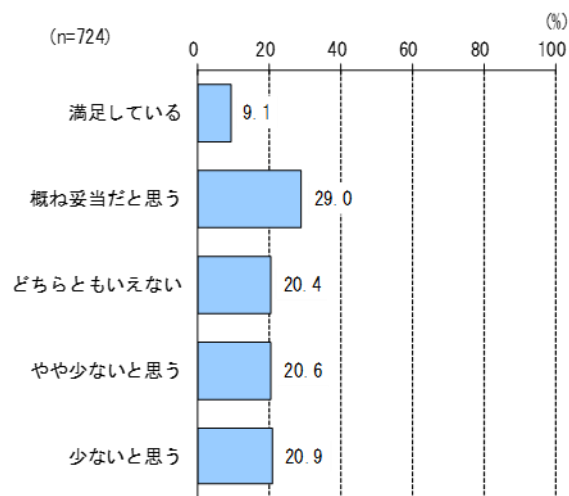
## 【現在の仕事に満足な理由】



### 【現在の仕事に不満な理由】



### 【直近の年収の満足度】



## (5) 今後の就労意向について

【約7割は継続就労意向、続けたくない理由は給与・賃金が安いからが過半数】

- **現在の職種での継続就労意向**は、「当面は続けたい」が52.3%で最も多く、次いで「ずっと続けたい」が17.5%となっており、合わせると69.8%が続けたいと回答しています。
- **仕事を続けたくないと思う理由**は、「給与・賃金が安いから」が54.0%で最も多く、次いで「体力的にきついから」が41.0%、「個人の責任が重く、プレッシャーがかかるから」が35.0%となっています。

【仕事を続けたくないと思う理由】

